



東長崎

一ひがながプライド

HIGANAGA PRIDE

PRIDE

HIGASHI NAGASAKI JHS

長崎市立東長崎中学校
学校だより 第 07 号
令和 6 年 7 月 9 日発行

副校長 宮崎国広

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎っ子の心を見つめる教育週間

月日	曜	内 容	
7/1	月	○市中総体表章報告会 ○教頭講話 ○担任講話 ○生徒総会	〈毎日の取組〉 ・生徒会挨拶運動 ・2分前着席、1分間黙想 ・授業公開
7/2	火		
7/3	水	○心を見つめる朝読書 ○学校保健委員会	
7/4	木	○専門委員会	
7/5	金	○1年生朝集会	
7/6	土	○こころの日のアンケート ○学活：「情報モラル」 ○道徳：「生命尊重」 ○懇談会	

保護者や地域住民が学校を訪れ、授業参観や子どもたちとの交流や教師との語り合い等をとおして、学校を起点に地域の大人が地域の子もたちを見つめ、共に行動することで、心豊かな「長崎っ子」の育成を目的とする、長崎っ子の心を見つめる教育週間を実施しました。

教頭による、教育週間についての趣旨説明及び講話により教育週間をスタートし、心を見つめる朝読書では、生命尊重や人権等に関する読書を行い、こころの日アンケートでは、自分の心と向き合い、ストレス状態を見つめさせてアンケートを行いました。

した。道徳授業では、各学年生命尊重や家族愛をテーマに行い、学活では、「メディアとの付き合い方～便利と危険の古今東西～」と題して、県メディア安全指導員の迎さんを招いて講演していただきました。

【教頭講話】

みなさんおはようございます。今日から7月ということで、本校では教育週間に入りました。

教育週間は正式には「長崎っ子の心を見つめる教育週間」といって、今週は、生徒総会や総合的な学習の時間で各学年、平和や地域についての学習を行ったり、6日には、道徳やメディアの講演会などの土曜授業があったりします。

さて、今日7月1日は長崎にとって、とても悲しく、しかし、忘れてはいけない大切な日です。みなさんは知っていますか。平成15年、今から21年前の今日、長崎市で当時4歳だった男の子が当時中学1年生だった生徒から殺害されるという悲しい事件が発生しました。私は、この事件があったとき、ちょうどこの東長崎中で3年生の担任をしており、大変ショックを受けた記憶があります。この事件と、その翌年起きた佐世保市での小学生同級生殺害事件をきっかけに、長崎県では、命の大切さについて考える期間にしてほしいということから、毎年この時期に教育週間を設定するようになりました。

今日は、その命の大切さを考えてもらう日として、みなさんに2つの伝えたいこと、というか、2つの言葉を紹介し、3つのお願いをします。

言葉の紹介の1つ目が「逃げるは恥だが役に立つ」という言葉です。聞いたことがありますか？新垣結衣さんや星野源さんが出演したドラマのタイトルで、この言葉は有名になりました。しかし、本当はこの言葉は、ハンガリーのことわざなのです。意味は、「問題と向き合わず逃げることは普通に考えると恥ずかしいことだが、逆にそれが最善の解決策になる。」ということです。ちょっと、その言葉の意味を頭の片隅に置きながらもう一つの言葉を紹介します。

2つ目は「俺は、助けてもらわねえと、生きていけねえ自信がある。」です。あの有名なモンキー・D・ルフィの言葉です。漫画「ワンピース」では、強くて頼りになる海賊の船長ですが、その彼でも、助けてもらわないと生きていけないと強く、はっきり言っています。つまり、「人は、支えあい、助け合って生きていこう。」と、彼は言っているのです。今現在、何かの壁にぶつかっている人、友達や家族とけんかしている人、つらい思いをしている人、そんな人はいませんか？先ほど述べた「逃げる」というのは、人に相談したり、助けを求めたりすることと考えてください。

そこで、1つ目のお願いです。もし、そんな人がこの中にいたら、その場から逃げる、つまり、相談したり、助けを求めたりしてもらってください。手段は問いません。話したり、手紙だったり、メールだったり、何でもOKです。しかし、そうは言っても、人によっては、実際に逃げたり助けを求めたりするのは難しいかもしれません。助けを求めることは、勇気が必要です。

だから、2つ目のお願いです。まわりにそのようなつらい思いをしている人がいたら手を差し伸べてください。自分が助けることが難しいと思った人は、先生などのまわりの人に伝えてください。それだけでも十分、人の助けになります。

そして、3つ目のお願いは、当然のことながら、家族や友人を傷つけるようなことはしないでください。具体的には、人の悪口を言ったり、嫌がらせをしたり、最近ではLINEやInstagramなどのSNSで悪口を言ったりすることです。私は、このような行為は許すことができません。みなさんも、その意識を持ってください。

3つのお願いの確認をします。

1つ目のお願いは、つらかったり、苦しかったりしたら、まわりの人に相談するなど、助けを求めてください。1人で悩まないでください。

2つ目は、もし、まわりにつらい思いや苦しい思いをする人を見つけたら、助けてください。先生などに伝えるでも構いません。

3つ目は、人を傷つけるような行為はしないでください。特に、SNSでのトラブルは最近の中学生では、深刻な問題になっています。東長崎中学校の先生方やみなさんの家族は、あなたが大切だと思っています。いのちは1つしかありません。ゲームのようにリセットはできません。

今の東長崎中学校をもっともっとよい学校にしていけるために、みんなで支えあって、助け合って、思いやりを持って生活していきましょう。よろしくお願いします。

【生徒総会】

教育週間期間初日7月1日(月)に「令和6年度東長崎中学校生徒総会」を開催しました。今年の総会では、

〈第1号議案〉

- 生徒会執行部年間活動計画、令和6年度生徒会年間スローガン
- 学年委員会年間目標・活動計画 ○専門委員会年間目標・活動計画

〈第2号議案〉

- 学級から出された意見の確認

〈第3号議案〉

- 「東長崎バスマナー向上プロジェクト」

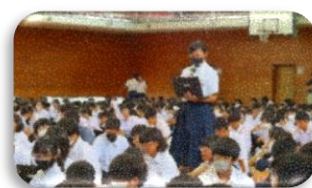


について協議されました。議長がテンポのよい進行を行い、活発な議論が行われ、とても意義ある生徒総会となりました。

第1号議案審議では、生徒会役員や専門委員会・学年委員会のみなさんの丁寧な取り組みが感じられ、「東長崎PRIDE」の実現のため全校生徒のことを思い、じっくり練られた活動計画・スローガンを提案してくれました。そして「創造～創り出そう新たな東長を～」というスローガンが承認されました。

第2号議案では、各学級から出された意見を、生徒会役員の人たちがしっかりと受け止め、丁寧な回答がなされました。

第3号議案審議では、現在の本校の課題である公共のマナーについてみんなで考えました。いいところ・改善すべきところをしっかりと分析し、理想の姿を導き、その実現に向けた具体策が検討されました。全生徒が「東長崎PRIDE」の実現のため、自分事としてしっかりと考えていることが伝わりました。



【情報モラル講演会】



7月6日(土) 土曜授業で情報モラル講演会を行いました。長崎県メディア安全指導員の迎史子先生を迎え、出席いただいた約90名の保護者の方と全校生徒に向け「メディアの付き合い方～便利と危険の古今東西～」と題してお話をいただきました。先生のお話は各メディアには長所と短所があるというところから、SNSなどは「相手が誰だか分からない」「情報がうそか本当かも分からない」「顔が見れないから相手がどんな思いを持っているか分かりにくい」などの短所があり、詐欺やすれ違いでのトラブルが多く発生していることを指摘されました。先生は以前中学校の国語の教員をされておられたこともあり、日本語は言語と非言語から成り立ち、非言語が抜け落ちることから、「LINEでの会話は、会って話すことに比べ1%も伝わらない」と言われていました。改めてSNS等の利用について考えさせられました。生徒に向けては、「困ったときには大人親に相談」「どうすればいいかわからないときには大人親に相談」と2つのポイント示してくれました。